

事業所自己評価シート

令和4年度

職員による自己評価

A環境面

定員に見合ったスペースを確保し静養する場もある。

B児童への支援内容

支援の一環として、公文式教育法を取り入れ、勉強の内容だけでなく、プリントの提出方法や礼儀作法に関する指導も療育として行っています。これにより、社会で通用する基本的なスキルとマナーを身につけます。

個別支援計画書は、面談を十分に行い、全スタッフと話し合いを重ね、生徒一人ひとりに合った支援を提供できるよう努めています。ご家族との連絡を密に取り合い、必要に応じて支援内容の見直しを行っています。また、お母さま方の相談にも積極的に対応しています。

C関係機関との連携

コロナの関係で関係者と直接会うことが難しい環境になっています。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎時に活動の報告を行い、連絡帳は日々提供している。また、直接話した方が良い事はその日のうちに連絡を入れています。

保護者による評価

A環境面

実際のマンションを活用した落ち着いたスペースは、子供たちの居場所として楽しく活用しています。

B児童への支援

学習は実績のある公文を採用しており、自分の身の丈にあった学習をする為、楽しく学んでいます。

学校の勉強と同じところを学ぶのではなく繰り返し基本を学ばせてくれる。

始まるときの挨拶や礼儀も療育と同時に学ばせてくれる。

C事業所からの情報発信

連絡は毎回実施して、保護者との連絡をおこなっている。メールでの連絡も何時でも取れるようになっている。

また、保護者の希望に合わせて面談を行っている避難訓練の実施内容は連絡帳にて受けています。

D非常対応

事業所内での分析

【共通点】

前回と同じですが、家でも、学校でも、塾でもない自分達の居場所として大切にしていきたい。雰囲気が落ち着いていて、それぞれがリラックスして時間を過ごしている。

【相違点】

開所して時間もたち保護者の方々ともコミュニケーションがとれ、要望を取り入れ講習会や、プログラムなどについて計画を立てていく。

分析・検討してみて…

事業所の強み

実際のマンションを使用して、落ち着いた雰囲気と居場所の提供をしている。
調理、家事療育を実際の状況で提供できている。
学習支援では、大手企業も取り入れている公文を行い、個々にあった出発点から学習を提供できています。
同時に挨拶や礼儀も支援の中に取り入れています。

事業所の改善点

実際のマンションの為、階下の人の心遣いなどの作法が十分にされていない。静かな雰囲気の中でできるプログラムが必要。

事業所の改善への取り組み

令和5年4月に新規事業所へ移動しました。ダンスフロアを利用して木の温もりを大切にしたい広いスペースで、階下も気にせず楽しめる居場所を提供しています。子供達は気に入ってくれているようです。過ごし方以外にもまだまだ改善することも多くあると思いますが、親御さんと連携を図り安全に過ごせる場を目指します。

- ① 避難訓練の充実と保護者との連携
- ② 保護者との効率の良いコミュニケーションの確率
- ③ 日々の療育の提供や長期休みのプログラムの充実等

お忙しい中アンケートにご協力ありがとうございました。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護支援と外部連携が課題。

活動、連携計画を作りその内容を保護者と共有ししていく必要がある。

事業所名 カルチャーズデイ反町

担当者 宮城信子